

令和6年度 1月 全校朝礼

昨日は寒かったですね。数日前から東京でも雪が降り「3cmくらいの積雪がある」と予報がでていましたが、雪にはならず今日心配なく登校できて安心しています。

話は変わりますが、1月の朝礼でお話しした「二十四節気」では、今日は『立春』です。そして昨日は「節分でした」豆まきをした人はいますか？

「節分」って何か知っていますか？なぜ「豆まき」をするのでしょうか？

簡単に説明します。二十四節気は、1年を季節で「立春、立夏、立秋、立冬」の4つに分けていて、実はそれぞれの前日が節分なのです。実は節分は年4回あるのです。

しかし、古代中国では冬至（1年で一番昼間が短い日 12月中旬頃）を1年の区切りにしていましたが、だんだんと「春から1年が始まる」という考えになり、「立春」が春の始まりであり、1年の始まりとされる日になりました。1年の終わりであり、大晦日とも言える「立春」の前日には豆まきなどを「節分」（季節が変わる日）の行事を行う大事な日として残っているのです。

「豆まき」は、季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立て厄神を追い払い、福を招くための「節分」の代表的な行事です。「鬼は外、福は内」と言って家の部屋ごとに豆をまき、そのあとで自分の年齢から1つ引いた数の豆を食べると災難を逃れて病気もしないと言われています。

また、玄関に「柊の葉」と「いわしの頭」を吊るすという風習も残っています。これは、鬼が「トゲのように尖った柊の葉」や「いわしの独特なにおい」を鬼が嫌うと考えられたため、鬼が入ってこないようにするというのが由来です。また、近年では、節分の日に「恵方巻き」を食べることも知られています。「恵方巻き」の由来は、古代中国の風習に遡ります。古代中国では、節分に恵方（恵方とは、その年の金運や幸福をつかさどる「歳徳神（としとくじん）」という神様がいらっしゃる方角のこと。恵方は年ごとに変わり「その方角を向いてさまざまなことをおこなうと、万事うまくいきやすい」という言い伝えがある）を向いて特定の食物を食べることで、厄を払い、福を招くという信仰がありました。この風習が日本に伝わり、節分に巻き寿司を食べたのがはじまりという説が有力です。関西で一般的でしたが、全国に広がったのは、コンビニエンスストアでの販売が大きな影響を及ぼしていると言われています。

今日の給食の献立は節分メニューで、「いわしのピリ辛ソース」「カリカリ大豆サラダ」です。

ちなみに、節分というと2月3日と思いがちですが、2日になったり、4日になったりします。これは、地球が太陽を1周する時間が365日ピッタリではないことが理由です。閏年があるのと同じ理由です。

話をもとに戻して、今日は「立春」。暦の上では春です。天気予報では最大級の寒波が日本列島を覆って木曜日くらいまでとても寒いと言っていますが、確実に春に向かっていま

す。しかし、春は出会いの季節であり、別れの季節でもあります。3年生と一緒に全校生徒が集まること、何かに取り組みことも残り少なくなりました。

ですから、1・2年生はしっかりと3年生の姿を目に焼き付けてください。もちろん、3年生はこれまでもさまざまな場面で真光寺中学校のリーダーとしてその背中で皆さんを引っばってきてくれました。みんなの記憶に強く残っているのは部活動でしょうか。それとも体育祭？ 合唱祭？でしょうか。でも、3年生はそんな行事だけががんばってきたわけではありません。それ以外の日々の生活の中でもよい姿を見せてくれていました。ぜひ、それも目に焼き付けてください。残り日数という話をしましたが、3年生の教室には卒業式まで後何日という「カウントダウンカレンダー」が掲示されています。3年生は分担された日を心を込めて製作しているのです。そのカレンダーを見るのはとても楽しみなのですが、数字が減っていくのはなんか悲しくなります。

1年生も2年生も、今のクラスでいられる日数、このクラスの友だちと一緒にいられる日数は何日ですか？聞き方を変えますね。「2年生になるまで、あと何日ですか」「最高学年の3年生になるのに、あと何日ですか」そこに立つまで「あと何日」を数えながら、そのステージに立った時に、後ろ姿を追いかけてきたの先輩のように自分になっていられるか。新しく入学してくる1年生に“先輩”と呼ばれる人になれるか、そんな意識をもって過ごしてほしいと思います。そしてそのために、今、何をしなくてはいけないかを考えてください。期待しています。

最後に、先週、とてもうれしい連絡がありました。演劇部が「関東大会」に出場します。町田市の大会を勝ち抜き、東京大会に出場し、東京都代表として、関東大会にすすみます。おめでとうございます。

関東大会は3月30日です。頑張ってください。